



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760

ガバナー月信 10

(2001.3.1発行)

2000-2001

国際ロータリー第2760地区 ガバナー 福田 清 成
〒483-8205 愛知県江南市古知野町小金112(江南商工会館内)
TEL.0587-52-5200 FAX.0587-52-5252
E-mail governor00-01@rotary2760.org

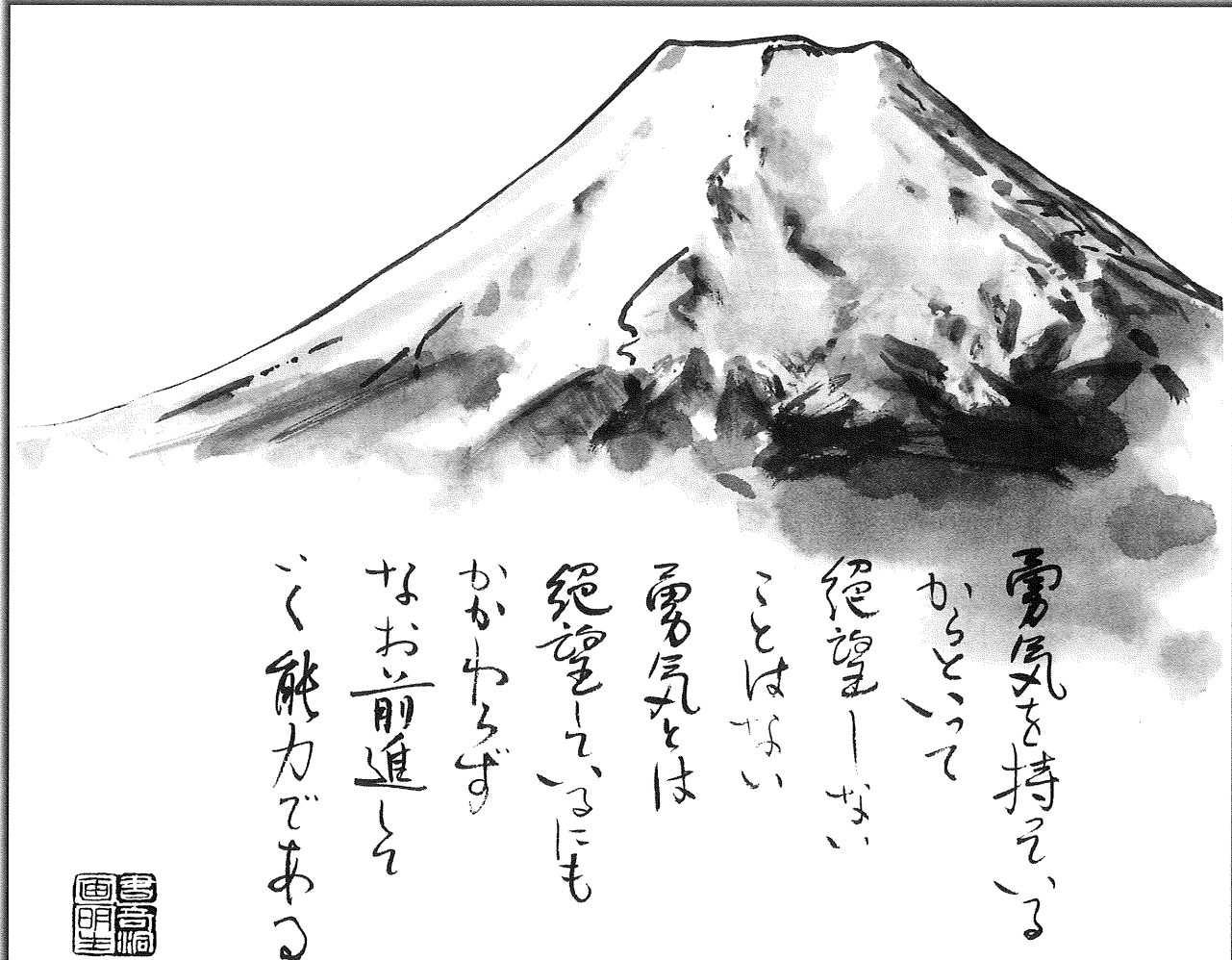
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

—— 3月12日～18日は世界RA週間です ——
—— 13日は世界RAの日です ——

クラブ会長・幹事の皆さんへ……………	1
ローターアクト週間によせて……………	3
委員会報告(ロータリー財団)……………	4
地区諮問委員会・記念例会報告……………	5
記念事業報告(豊橋RC)……………	6

目次

2005年カウントダウンイベント報告……………	11
国際ロータリー年次大会の御案内……………	12
新入会員報告・ポールハリスフェロー・特別寄付報告……………	13
ロータリー文庫……………	14
出席報告(1月分)……………	15



十 戒 道徳教育と食生活

R I 2760 地区ガバナー 福田 清成

小学生の孫娘とTVで「大草原の小さな家」をときどき楽しんでいます。先日はモーゼの十戒が小気味よく利いた爽やかなお話でした。

1. 主のほかになにものをも神としてはならない 2. 刻んだ像を造ってはならない 3. 主の名をみだりに唱えてはならない 4. 七日目はなんのわざをしてもならない 5. 父と母を敬え 6. 殺してはならない 7. 姦淫してはならない 8. 盗んではならない 9. 偽証してはならない 10. 隣人のものをむさぼってはならない、…学生時代、宗教部員だったという妻の聖書を借り、抜書きしてみても不思議と心の静まりを感じました。アメリカではずっと昔から多くの人々が心に刻んできたのであろうと想像しながら、日本も古くから伝わっている大乗の十重禁戒があることを思い浮べました。1. 生きとし生けるものの生命を大切にしなければならない 2. 盗みや不正を犯してはならない 3. 夫婦の道を乱してはならない 4. うそ偽りをいってはならない 5. 迷いの酒や思想に溺れてはならない 6. 他人の過ちをいいふらしてはならない 7. おのれの自慢、ひとの悪口をいってはならない 8. 物でも心でも与えることを惜しんではならない 9. 激しい怒りで、自分を失ってはならない 10. 釈尊の教えを疑ってはならない。

モーゼの十戒と十重禁戒、宗教にかかわるところがありますが、それはそれとして共通するところが多く倫理についての箇条は大切なものばかりです。至極当然のことともいえますが、この何十年かは子や孫にこうしたことを言わなさ過ぎたのではないのでしょうか。

半田の生んだ実践的教育者森信三先生は、講演録の中で、道徳教育は二つに分かれ一つは道徳的判断力を練るということ、もう一つはしつけと述べておられます。

道徳教育は人間としての生き方の種蒔きであり、教師自身が「我いかに生きべきか」という根本問題に取り組んで、そこから滴り落ちるしずくが、子供達の心に染み込んでいくことが一番大事である。

しつけとは、社会的な決まりにしたがって我が身を動かすということ、身体的な問題であって、心持ちの方は後からついてくる。つまり親にあいさつしていると、だんだん親の気持ちもわかるようになる。しつけはそのことの意味や価値が十分わからないうちに、形の方から身に付けてゆくことで、そうするとやがて意味も分かってくる。

具体的には

1. 朝のあいさつをする子に
2. 「ハイ」とはっきり返事のできる子に
3. 席を立ったら必ずイスを入れ、ハキモノを脱いだら必ずそろえる子に

しつけようと言っておられます。わずか3つの簡単なことですが、ごく自然にいつも出来たら素晴らしいと思いませんか。

3月は12～18日が世界ローターアクト週間

であり、13日が世界ローターアクトの日です。ローターアクトは18～30歳の青年を対象に、奉仕を志す市民やリーダーを育成しようとするロータリーの提唱するクラブであります。この機にひろく次世代、将来を担ってくれる新世代に何をしてあげられるか、何をしなければならないかを考えたらと思います。

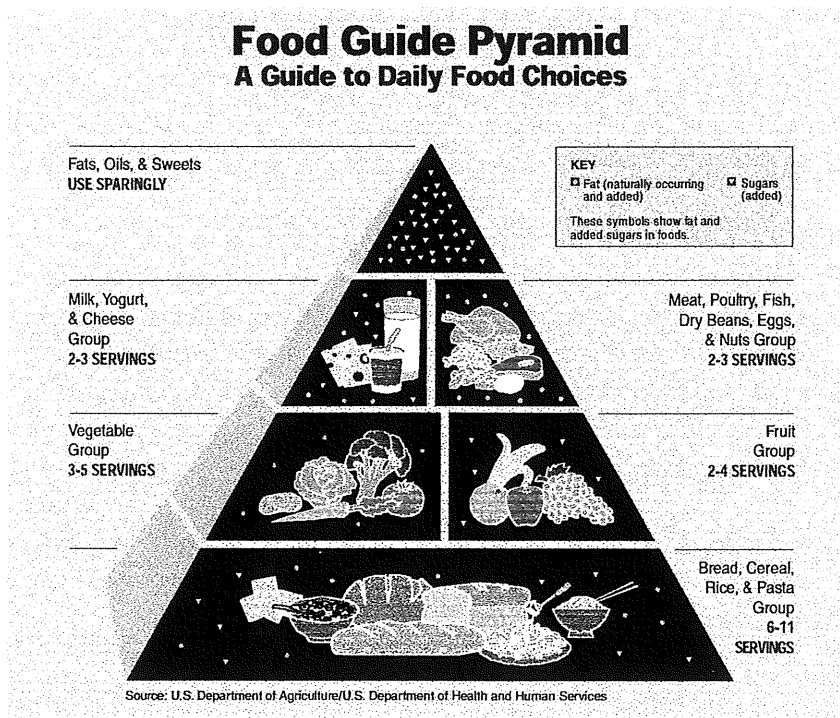
家庭において、職場、地域、世界において新しい世紀の大事な担い手・新世代にロータリアンの一人として少しでも何かしてあげたい。やはり自立と自律がしっかりできる人々になってほしい、先人に学んでもらいたい、歴史も、人生も、生きる手段も身に付けてほしい、積極的であってほしい。一杯ありますが、何と云っても人を人たらしめている基本を身に付けてくれるように力添えしたいものであります。

子供や若い人達のことを思うとき、

食の重要性を痛切に感じます。人間は食べ物の化け物であると云った人がいますが、たしかに食物によって体は出来上がっています。食が人の心と身体に及ぼす影響はきわめて大きいと思われます。ただ、どうも日本の伝統的な食事の良さが世界的に注目されているのに、肝心の日本人が一般的には無頓着なのが惜しまれます。

アメリカ政府が推奨している食事ガイドラインは明らかに日本の穀菜食を強く意識しています。第5次改訂2000年版では、穀物、特に全粒穀物と野菜を多く中心的に採るべきとし、次いで果物

と乳製品、更にその次に肉・魚を位置付けています。そして砂糖摂取過多にならないように飲料や食品を選べと云っています。日本の青少年は欧米の食へ傾斜を今も深めつつあり、アメリカは逆に舵をきっているようです。もっと食に関心を持って青少年のことを考えなければなりません。

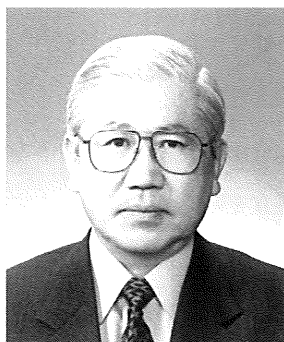


推奨する望ましい摂取比率をピラミッドで表現したアメリカの食事ガイドライン

次世代にとって最も大切なことのうち、道徳教育と食生活について日頃気にしていたことをお伝えしました。

**新世代のために意識を喚起し —
進んで行動しましょう。**

ローターアクト週間によせて



地区ローターアクト委員会
委員長 青木 公貞

今年も、「世界ローターアクト週間」がまいりました。新世代育成の大きな柱の1つとして、私共はローターアクトクラブの活動を指導・支援いたしておりますが、多くの困難を抱えております。

その1。18～30才の若者で構成される各クラブは、福祉・環境・社会一般に対しての学習と実践を通じて、貴重な体験を重ねることにより、確かな成長を遂げ、彼等自らの人生は勿論のこと、所属企業で、地域社会で重要な支え手となって行きます。

しかし、その活動が地域社会でも、ロータリークラブの会員にも、必ずしも認識されないため **会員の募集に苦慮** いたしております。

その2。提唱クラブの財政支援の負担が大きく、現在の9ローターアクトクラブ以外の **拡大が難しい** こと。

以上が、現在抱えている2大問題であります。

話を先へ進めます。現在のローターアクトの会員はロータリアンの子女も入会しておりますが、多くのクラブでは、ロータリアンの企業からの派遣か、会員の友人・知人達が殆んどであり、**将来ロータリアンになる可能性は無い若者達** であります。私はこの点に大きな意義を感じております。普通の中小企業に勤める若者達が、ローターアクトの活動を通じて、健全な企業や地域社会の担い手となり、きちっとした社会人、

いや日本人として成長してゆく姿を見ておれば、私共ロータリアンとして、支援者となることの出来た自分に責任と誇りを、そして、**この機会を与えてくれた、ロータリーそのものに感謝** せずにはおれません。

ぜひ、提唱クラブの役員・担当委員会の皆様にも、彼等の活動へどんどん参加し、支援と助言をして下さい。必ず、彼等の成長の姿が良く見えます。そして、その活動の中から、私共自ら、大きな刺激が得られることでしょう。若さすら一杯もらえるのです。

この様に申し上げますと、財政負担の事を私共が問題とすることすら、あまり重要でないと理解していただけることでしょう。彼等は、今、ローコスト運営を真剣に追求しております。心強い限りです。

企業派遣の会員の成長は、所属企業に大きな力を持ち帰ってくれるでしょう。

地区の
各ロータリークラブの } 皆さん
各提唱クラブの

ローターアクトの活動にぜひ参加して下さい。その中に有るものを確かめて下さい。ローターアクトを提起し、支援して良かったと分かりますし、もっともっと支援しても良いという気持ちになれると思います。

委員会開催報告

2000～'01年度

ロータリー財団委員会開催報告

<2002～'03年度「DDFプログラム選択会議」(1999～'00年度寄付分)>

日時：2000.12.25 場所：地区事務所

2002～'03年度における「シェア・システム配分報告書」が国際ロータリー財団より示達されましたので、福田ガバナー出席のもと、審議規定に従い、標記の会議が開催されました。種々慎重審議の結果、当該年度における当地区「DDFプログラム」計画が下記のとおり決定されました。当日は次の点について重点的協議がおこなわれました。

(1) DDFプログラムの内容

(2) 審議内容の要点

① 人道的分野

- ・前年に続き人道的分野での「同額補助金」プログラムを積極的に推進するよう、計画配分した。
- ・災害救援については前年度の計画予算が残る見通しのため、5,000ドルに減額した。
- ・世界社会奉仕助成金については前年度の計画予算未使用のため、今年は見送った。

② 教育的分野

- ・過去、奨学生推薦者の辞退者発生を防止するため推薦方法の改正、成績のみではなく情熱と誠実面を多く採り入れた推薦方法に改めること。本格的留学は個人にて行くこと、財団奨学生の基本は「国際親善大使」の役割が任務であること等を考えた。

③ 他地区への寄贈

- ・従来「ジャパン奨学金」プログラムとしてタイ国第2260地区より1名の「語学研修生」を受入れてきたが、今回、同額補助金プログラム提携地区5010地区より同様の寄贈の希望があり、同ジャパン奨学金プログラムとして従来の1名を2名とした。

D2760 DDFの推移(単位:USD)

地区ロータリー財団委員会(12/1/2000現在)

(寄付年度) プログラム年度		(95-96 寄付年度) 内藤ガバナー年度 98～99	(96-97 寄付年度) 野村ガバナー年度 99～2000	(97-98 寄付年度) 福田ガバナー年度 2000～01	(98-99 寄付年度) 太田ガバナー年度 01～02	(99-00 寄付年度) 岡部ガバナー年度 02～03
計算基礎	年次寄付	594,903.44	581,308.72	577,605.21	544,435.88	563,648.80
	恒久基金運用収益額				10,993.45	15,185.47
DDF明細	年次寄付 x 0.6	356,942.06	348,785.23	346,563.13	326,661.53	338,189.28
	運用収益額 x 0.6	1,321.82	2,867.01	4,450.32	6,596.07	9,111.28
	奨学金辞退者	61,700.00 (3名)	110,000.00 (5名)	154,000.00 (7名)	44,000.00 (2名)	44,000.00 (2名)
	1学年度奨学金未使用額		29,000.00	46,440.00	57,967.24	31,293.10
	7'00'未使用額				500.00	25,000.00
	前年度DDF未配分額	69,147.52	23,611.40	62,263.64	62,717.09	0.00
当該年度のDDF		489,111.40	514,263.64	613,717.09	498,441.93	447,593.66

00年配分決定年度		(96～97年度) 松本ガバナー年度	(97～98年度) 大崎ガバナー年度	(98～99年度) 内藤ガバナー年度	(99～2000年度) 野村ガバナー年度	(00～01年度) 福田ガバナー年度
人 道 的 分 野	同額補助金			50,000.00	10,000.00	10,000.00
	災害救援				23,000.00	5,000.00
	世界社会奉仕助成金				3,000.00	0.00
教 育 的 分 野	1学年度奨学金	308,000.00	207,000.00	299,000.00	300,000.00	275,000.00
	2学年度奨学金	132,000.00	220,000.00	154,000.00	96,000.00	72,000.00
	3学年度奨学金				36,000.00	0.00
	GSE語学研修助成金	500.00		500.00	500.00	500.00
プログラム強化	GSE初級プログラム助成金			500.00	500.00	500.00
	恒久基金					
寄 贈 分 野	WF					
	平和奨学金への寄贈					25,000.00
他 地 区 寄 贈	9ヶ月ジャパン奨学金	25,000.00 1名 D3360	25,000.00 1名 D3360	25,000.00 1名 D3360		
	12ヶ月ジャパン奨学金				29,000.00 1名 D3360	58,000.00 2名 (D3360 D5010)
シェア配分総額		465,500.00	452,000.00	551,000.00	498,441.93	446,000.00
未配分額		23,611.40	62,263.64	62,717.09	0.00	1,593.66
<<96～97年度派遣予定者>>		<<97～98年度派遣予定者>>		<<98～99年度派遣予定者>>		<<99～2000年度派遣予定者>>
<<96～97年度派遣予定者>> (1) 1学年度 (M) マルチ2学年		<<97～98年度派遣予定者>> 飛田昭子 (1) } 3名 新井宗子 (M) } 高橋真子 (M) } 市野 (M)は1年で学位取得、1年分返却		<<98～99年度派遣予定者>> 杉山由里 (1) } 砂井由美子 (M) } 5名 中川 枝 (M) } 西山教士 (1) } 曾根一正 (1) } <<99～2000年度派遣予定者>> 深水高橋 (M) } 2名 平岩 健 (M) }		<<99～2000年度派遣予定者>> 矢上清乃 (M) ※ 1名 <<99～2000年度>> 玉田敦子 (M) 1名 ※97～98プログラム年度マルチ2年奨学生 矢上清乃は有為のため出陣を延期、今回 結成となった
<<00～01年度派遣予定者>> 寺部雅人 (M) 1名 <<01～02年度派遣予定者>> 山本真智子 (M) 1名		<<00～01年度派遣予定者>> 寺部雅人 (M) 1名 <<01～02年度派遣予定者>> 山本真智子 (M) 1名		<<00～01年度派遣予定者>> 寺部雅人 (M) 1名 <<01～02年度派遣予定者>> 山本真智子 (M) 1名		<<00～01年度派遣予定者>> 寺部雅人 (M) 1名 <<01～02年度派遣予定者>> 山本真智子 (M) 1名

第4回諮問委員会

出席者 森PDG 奥谷PDG 加納PDG 盛田PDG 神戸PDG
宮地PDG 松本PDG 内藤PDG 野村PDG 福田DG
太田DGE

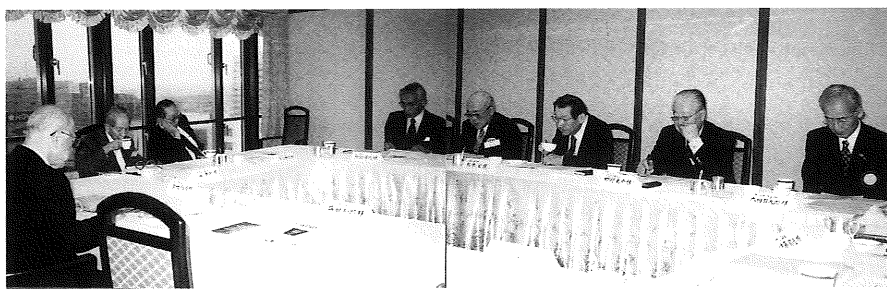
(オブザーバー 伊藤地区幹事、倉知地区副幹事、藤井次期地区幹事)

欠席者 福田PDG 田中PDG 高沢PDG 石川PDG 蜂谷PDG
福田ガバナー挨拶

今日の協議事項はもう既に次年度の案件が目白押しとなりました。地区大会以降もGSEの帰国に始まり、各事業が着実に展開されております。ガバナー会では全国に万博のPR並びに協力要請をしてきました。会員拡大委員会のご努力を念頭に置いて、会員増強への強い意思を持って残された期間を全力投球するつもりであります。

協議事項

1. 2001～2002年度 地区予算(案)について
2. 2001～2002年度 地区役員及び委員会委員(案)について
3. 2001～2002年度 会長エレクト研修セミナー(PETS)について
4. 2001～2002年度 地区協議会開催要項(案)について
5. 2001～2002年度 地区協議会分科会指導者(案)について
6. 2001～2002年度 地区大会(案)について
7. 2001～2002年度



地区ガバナー公式訪問日程(案)について

8. 2001～2002年度 ガバナー事務所役割分担について
9. 2001～2002年度 GSE(研究グループ交換)について
10. その他

報告事項

以下の議題全部につき配付資料のとおり報告された。

1. 2000～2001年度 地区大会収支決算報告について
2. 地区資金予算執行状況について
3. IM開催について
4. DDF選択会議について
5. 2002～2003年度地区大会ホストクラブ受諾の件(半田南RC)
6. 2000～2001年度 第8回ロータリー青少年交換研究会「福岡会議」開催について
7. 第9回ライセセミナー開催について
8. 日本国際博覧会協会 財務委員について

9. 東海豪雨義援金及び三宅島他義援金分配報告について
10. 第2回ガバナー会議事録について
11. 2001年サンアントニオ国際大会について
12. 地区主要行事日程について
13. その他

記念式典報告

おめでとうございます

豊橋東RC創立5周年

豊橋東ロータリークラブは、1996年1月24日に豊橋南ロータリークラブをスポンサーにチャーターメンバー30名で創立し、2月6日に国際ロータリー加盟



が認証され、豊橋市内では5番目のロータリークラブ誕生となりました。

当クラブの設立に当たっては、豊橋南ロータリークラブの今は亡き中村英彦特別

代表の大変なご苦労によるもので、その功績は偉大なものであります。

その創立の精神は、新しい時代を見据えて「青少年を対象にして教育・スポーツ活動を通して国際交流を計り、世界平和に貢献する」ことと定められました。30名という少数の会員でのスタートですので、一步一步地道に活動を進めるべく、韓国の中央大学校との交流(学生の短期受け入れ)から始め、今日まで継続事業として内容の充実を図りつつ続けています。

豊橋東ロータリークラブは、なんと言っても「やっと5年目」ということで、会員は51名となったものの、そのほとんどがロータリー歴の浅い会員ばかりであります。本年度の会長方針「深めようロータリー精神」に則って、記念例会では、スポンサークラブの豊橋南ロータリークラブの会長・幹事と設立に直接関わった当時の会長・幹事と拡大委員のメンバーに参加していただき、設立時の第2760地区ガバナーの石川和昌バスター(豊橋ロータリークラブ)をお招きして、設立時のエピソードを交え、新世紀におけるロータリアンの課題や使命について卓話をいただき、夫人とともどもロータリーについての理解を深めさせていただきました。卓話の後は、全員で飲み、5周年というより21世紀の幕開けをささやかながら祝い、これからのロータリー活動を確認し合いました。



創立50周年記念「地球環境フォーラム」

豊橋RC

～持続可能な
地域社会の実現に向けて～

豊橋ロータリークラブは本年度創立50周年を迎えました。この記念すべき年度を意義ある年度にすべく、色々と



記念例会で挨拶する福田ガバナー

協議を重ね1年半にわたって、文化、環境、新世代問題等の諸事業の地域展開を行って来ました。

特に地域の環境問題は最重要課題であり、2001年1月25日には豊橋（地域）から日本全国に向かって環境問題に対して情報発信しようと、「地域環境フォーラム 持続可能な地域社会の実現に向けて」を豊橋勤労福祉会館にてRCメンバー及び関係者・市民の方1,100人が参加し開催しました。これに先立ち行われた第2513回例会には、福田清成ガバナーをはじめとして地区内40クラブ183名のビジターにご出席頂き、記念事業のひとつとしてご支援させ

コーディネーター：

石 弘之（東京大学大学院教授）

パネリスト：

天野明弘（関西学院大教授）

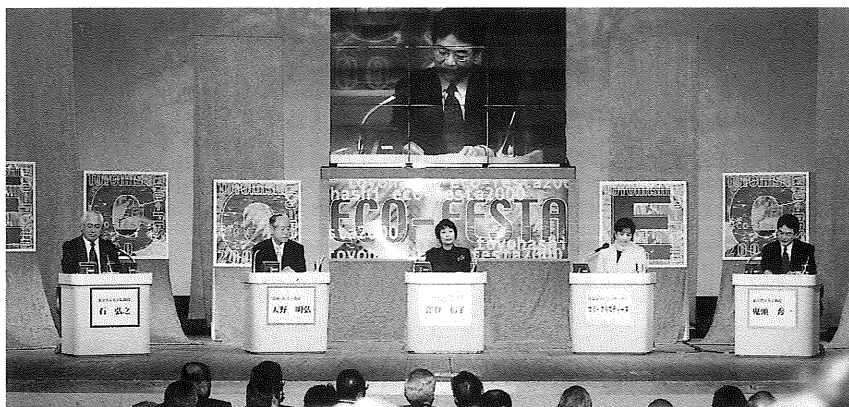
鬼頭秀一（東京農工大教授）

澤登信子（ソーシャル・マーケティング・プロデューサー）

マリ・クリスティーン（異文化コミュニケーション）

ていただいている「朝倉川育水フォーラム」のビオトープ造成事業に関してのお話をお聞きました。

今回のフォーラムは、環境文化都市を目指す豊橋市が昨



NHKでも放映されたフォーラム



最後まで熱心に聞入る聴衆

年から開催している「エコフォーラム2000」の一環として豊橋市と共催で開催しました。

環境経済学者や環境保全活動に取り組む生活者をパネラーにお迎えし、当地の「穂の国森づくりの会」をはじめとして、日本各地のNPO・ボランティア活動の映像をはさみながら、循環型社会の構築に向けた取り組みや活動についての意見交換・提言に耳を傾けました。まとめでは「21世紀は皆で頑張れば大丈夫」という心強い気持ちを私どもにも与えていただきました。

今回のフォーラムはNHKのご協力をいただき、2月9日午後11時からNHK教育テレビ「金曜フォーラム」で放映されました。



社会奉仕の 焦眉の課題

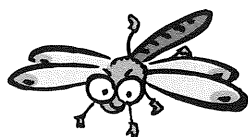
三 浦 俊 彦
(名古屋錦RC)

フランク・J. デブリンRI会長は意識を喚起し一進んで行動をと呼びかけられ、福田清成ガバナーは自然循環による環境保全を地区方針として掲げられた。

名古屋市においては、分別収集が始まったとはいえまだゴミ処理問題が解決されぬ大きな課題となっている。省資源・省エネルギー・環境にやさしい生活スタイルが求められ、社会も企業も環境保全問題を避けて通れないのが21世紀であろうと思われる。

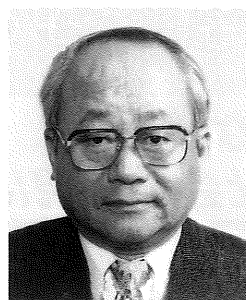
わが名古屋錦ロータリークラブでは、今年度の社会奉仕活動として、学校にビオトープを送る運動に取り組んでいる。小学校にメダカ池を贈ろうという運動である。それも、メダカ池というハードを作るだけという寄贈方法ではなく、何故メダカ池かということから、池をどう作ってどう維持していくかというソフトを含めて根付いたものにできるよう、専門家の指導のもと学校の関係者とも議論を重ねてきた。

生徒にも授業の中で池作りの作業に参加してもらい、自分たちで作った池に関心を深め、メダカやトンボを小学生が身近に見親しむことができる場所を作ることができれば、環境保全に対する青少年の意識喚起に大いに役立つものと考えられる。



ロータリー歴

1996年4月 名古屋錦ロータリークラブ入会
1997-98年度 クラブ幹事
2000-01年度 社会奉仕委員長



ロータリーの原点と 「あるべき姿」

酒 井 勇 治
(蒲郡RC)

1905年僅か4名で発足したロータリークラブは、今や162の国家(国連加盟国は189)クラブ数約3万、会員数118万余に達している。

21世紀を迎えロータリーは、どのような発展の途を歩むのか、現状のあり方で良いのか、改めて問い直される時機にあると思われます。世界は常に変化している。ロータリーはこの世界と共に変化し成長していかなければならない。ロータリーの物語は幾度も書き替えられねばならない、之はポールハリスのことばであります。(RIのロータリアン必携より)

現在の日本社会は大きく変化しております。官から民へ、更に市民への胎動が、昨年の田中長野県知事の誕生に見られるように、大きなうねりとなっております。

ITによる急速な情報革命、身近なものから宇宙規模に亘る環境問題、更に家庭、親子の関係、心そのものが問われる危機的様相を呈しているのです。

幸いにも私等はロータリアンであります。ロータリーの理念・哲学—いかに生きるか、そして1906年シカゴロータリークラブの最初の綱領、

第1条 会員の業務上の利益を振興すること

第2条 社会クラブに伴う親睦その他望ましい、諸事項を振興すること

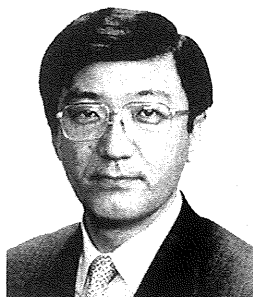
第3条 地域の利益を推進し市民に対し、誇りと忠誠の精神を普及せしむること

この素朴とも思われるロータリーの原点にかえり、改めて我々のあり方を考えるべきであると思われます。

新世紀を迎え、あるべき、望ましいロータリークラブ、若年層も女性も気楽に加入できるクラブ、親睦と奉仕にロータリーライフが楽しめるクラブをと祈念するものであります。

ロータリー歴

1980.9.27 入会
1996 副会長
2000 会長
米山功労者



21 世紀は デジタル例会 !?

中 村 重 嗣
(岡崎 RC)

私は現在のデジタル機器なるものにその利便性や合理性は認めるものの、決して万能だとは思っていない。

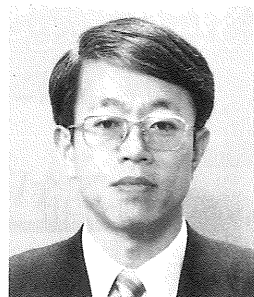
インターネットやその周辺機器が今や 21 世紀の代表のように言われ、デジタルの代名詞的存在でもあるが、私はその便利さを早くから利用し認めつつも、いまだに E メールには馴染めない。毎日のように打つのだが、相手同様用件のみである。それはそれで事は足り、話は進む。従来と比べ格段に時間が節約でき無駄がない。費用対効果は抜群であり、文句の付けようはない。文字や音声、映像をリアルタイムでやり取りをし、真に物理的距離を克服したのはデジタル技術であり、限り無い可能性と恩恵を社会に与えてくれている素晴らしい技術である。

それではデジタル機器の発達でロータリークラブの例会にわざわざ週に 1 回決まった場所に集まらなくても良くなるだろうか？遠からず直面するその問題にどう答えたいのだろうか？答えは恐らく「否」だろう。情報の交換と記録・連絡会議ならば E メールの方が余程正確に早く出来るだろうし、卓話はインターネットテレビの方が良く聞こえて便利だろう。しかしどんなに優れた CD でも生演奏とは異質なものはよくご存じの通りだし、五感への感動が遥かに少なく感じられ、何か足りない気がするのである。

言うまでもなくロータリアンが求めるものは、限り無く真実に近い虚像ではなく、真実そのものである。人々が奉仕を目的に善意をもって集い、交感してこそ発し感じる事が出来るものがそこにある限り、ロータリークラブの例会は 21 世紀もこのまま残しておきたいものである。

ロータリー歴

1993 年 入会
2000 ~ 01 新世代委員長



長く気楽に付き合える 「終の棲家」に

野 村 賢 孝
(知立 RC)

学生時代に恩師から「人は、居ごちの良い所へ移動する」と教えられました。それは、学校や家庭だけでなく、職場でさえ同じようになると言うのです。餓えが無くなって人々の選択の幅が広くなり自由に選べる時代はすばらしいと思います。

我慢している人も多いでしょうが、昔ほど制約がなくなるので、はるかに転居や転職が多くなると言われました。都市と都市が人を勧誘する競争さえ起きる。会社も、親切的な自治体の所へ移動してしまうだろうと！

沢山の人が、「居ごちの良い所」へ移動してしまいます。大変に驚きましたが 30 年経つとその通りになって来たように感じます。

さて、ではロータリークラブが居ごちの良い所となるには、何が必要でしょうか？

それには、会員同士の友情を深める時間を沢山取る事が良いと思うのです。その為には、夜間例会終了後は、同じ場所で参加自由な「お楽しみ時間」を作ります。軽い「つまみ」と酒、ワイン、コーヒーなどの飲み物を出し卓話者や他の会員とゆっくり話を聞けるようにします。

なにしろ定年の無いクラブでは親子以上の年齢差がありますので長く気楽に付き合える「終の棲家」にしたいものです。

「入りに良く学び、良く遊び、元気に出でて良く奉仕する」居ごちが良いと思うのですが、いかがでしょうか？



ロータリー歴

1991 年 (平成 3 年) 1 月 16 日 知立 RC 入会 (チャーターメンバー)
1991 ~ 1992 クラブ会報委員長
1994 ~ 1995 プログラム委員長
1996 ~ 1997 財団・米山委員長
2000 ~ 2001 新世代委員長
2000 年 3 月 30 日 米山功労者



職業奉仕の実践が 会員増強に

加藤 凱也
(半田RC)

ロータリーが新世紀においても発展し続けるには、これまで以上に質を重視した会員の増強が切要です。しかし、現実には会員数を維持するための補充さえ思うようになりません。新会員を推薦するには、先ず自身がロータリーの魅力を実感していることが最も大切です。そして、ロータリーについて正しく説明できる知識が必要です。又、当然ですが、候補者を本当に熟知しており、お互いの為になるかを考え、責任を持たなければなりません。

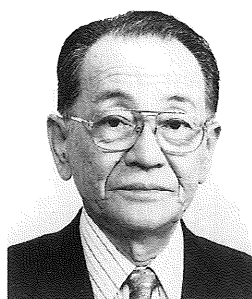
各クラブとも限られた区域で会員増強することは大変ですが、「世の中のために、何かお役に立ちたい。何かお返しをして行きたい。」と考えている人達は、まだ沢山いると思います。行いにおいては「奉仕」、思いにおいては「愛」、この両輪の理念をしっかりと心から理解し、感じ取れる仲間を探し出せばよいのです。むしろ問題なのは、ロータリーの心を躬行する真のロータリアンが少ないことです。ロータリーを動かしているのは会員の3割程と聞きますが、その割合を高めることこそ、結果的には本当の会員増強に繋がることになるでしょう。

真のロータリアンとは、「奉仕の理想」を実践している人、即ち、職業の根底にロータリー精神を抱き、ロータリーでの活動を職場や社会で有益に生かしている人ではないでしょうか。私自身を省みますと、職場では職業を代表できる模範的な職業人になろうと努力し、ロータリー活動にも常に斬新さをもって積極的に参加してきました。ことに社会奉仕や国際奉仕は、長年のボーイスカウト活動で親しみがあり、地区のWCSや青少年交換プログラム、米山奨学生学友会の設立などに、自発的かつ精力的に活動してきました。しかし、職場で「四つのテスト」や「職業宣言」などを意識して広め役立てようとしたことがありません。つまり、職業に間接的な活動が殆どで、直接的な職業奉仕を怠っていたのです。従って、ロータリアンとしての充分条件は満たしていても、必要条件に欠けており、まさに「仏作って魂入れず」で、真のロータリアンとは言えません。

ロータリーが百年近くも繁栄し続けてきたのは、職業人の集団であるロータリーの原点が職業奉仕であり、職業とロータリーが直結していたからでしょう。ロータリーのためのロータリー活動であっては長続きしません。社会奉仕や国際奉仕が肥大化し、第一義であるべき職業奉仕が目立ちませんが、今、その存在を強調しなければなりません。現在のような時代こそ、職業倫理の確立と誠実な職業活動が必要であり、「職業奉仕の理念」というロータリーの哲学を勉強し、職業奉仕の道を極め実践することが切望されます。他の奉仕団体にはなく、ロータリーの金看板と言われる職業奉仕の素晴らしい魅力を体得し、真のロータリアンとして、自信をもって会員増強に励もうではありませんか。

ロータリー歴

1988.3	半田RC入会
1989～1990	国際奉仕委員長
1993～1994	国際奉仕委員長
1995～1998	地区米山奨学委員
1997～1998	地区米山学友会副委員長(初代)
1998～1999	地区米山奨学委員長
1999～2000	幹事
2000～2001	職業奉仕委員長
	マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(2回目)
	米山功労者(2回目)



ロータリーの 原点を考える

丹羽 那一
(尾張中央RC)

「ロータリアンは地域社会をより良くする努力を通して、他の人のため奉仕し、事業や専門職業における道德水準を高め、各々が知識と理解の懸け橋を築いて世界平和に寄与することを目的とする」と定められ、四項目からなる綱領の鼓吹と四つのテストに照らしての行動が求められています。

- 即ち、
- 1) 真実か どうか
 - 2) みんなに公平か
 - 3) 好意と友情を深めるか
 - 4) みんなのためになるか どうか

ロータリーの使命遂行のため様々な努力がRIはもとより、地区ガバナーを始めとする各部門のリーダーを中心に推進されておりますが、その中でも、各クラブの活力維持のための会員増強は欠かせません。然し乍ら、会員増強や拡大への努力がともすれば規則の拡大解釈や運営上の柔軟化へと進み、前述の創立理念から少しづつ方向が変えられるのではと危惧を抱くものであります。

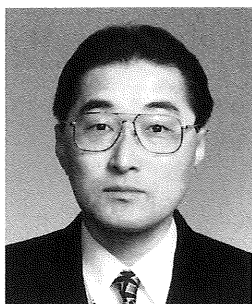
川の流れに例えますと、本来真っ直ぐ南へ流れるべき川が気がついた時には西か東へ方向が変わっていたと云うことではいけません。

そこで私は今一度「ロータリーの原点」を見つめ直して、新しい世紀に相応しい奉仕活動やクラブ運営への取り組みを提言いたします。



ロータリー歴

1975年(S.50.10月)	西春日井RC入会(創立会員)
1981～'82年度	幹事
1983～'84年度	副会長
1983年(S.58.12月)	尾張中央RCへ移籍(キーマンバー)
1984～'85年度	幹事
1985～'86年度	副会長
1988～'89年度	会長
1999～2000年度	西尾張分区分・ガバナー補佐



ロータリアンを 目指して

古田 嘉 且
(江南RC)

1996年8月29日、これから始まるロータリーライフに期待と不安を抱きながら、緊張の面持ちで、松本 宏ガバナーより、ロータリーバッジを付けて戴いた暑い夏の入会式。

あれから5年。人生に例えるならば、やっと幼稚園児になった頃でしょうか。

1905年2月23日にポール・P・ハリスによって提唱されたロータリーも、もうじき100歳を迎えようとしています。

2000年6月30日現在、世界163ヶ国、29,626クラブ、1,180,550人の会員(RI公式発表)であるが、諸先輩方は、どんな希望と期待を持って入会式を迎えられたことでしょう。

ポール・P・ハリスは、「ロータリーの成功を恒久化させるために必要なのは、ロータリーの哲学の理想化・標準化である。」という言葉を残しています。

21世紀のロータリーは、ポール・P・ハリスのロータリー創立の原点に戻ること、と言う。ロータリーの基本原則は時代、地域等に関係なく不変。若干のアレンジを加えてもよい枝葉と、根本をなす幹とを間違えてはいけない。

ロータリーの始まりは親睦。親睦は例会出席。例会は修養の場であり、人格の向上の貴重な場である。また、ロータリー活動はひとつの倫理運動。さらに、ロータリークラブは、奉仕団体ではなく、奉仕を志す者の異業種の集まりであり、職業奉仕を実践する勇氣と便宜を与えるための機関である、と言われている。

そして、諸先輩から受け継いだロータリーの基本原則を我々が承継し、次の世代へ伝承していくことが、使命であると思います。

前原勝樹バスターガバナー著「ロータリー入門書」の中に、『あなたは、ロータリアンですか、それとも、唯の会員ですか。』という一節があります。

入会間もない私ですが、ロータリークラブの幅広い勉強をし、ロータリアンに近付けるよう、21世紀に向かって、自分なりに努力し続けたいと思っています。

ロータリー歴

1996年8月29日 江南RC入会
1999年～00年 副SAA
2000年～01年 副幹事



礼節を失わず 楽しく

伊藤 清 次
(名古屋大須RC)

20世紀も、ミレニアムを迎え、激動の世と言われる変動があったと思いますが、それにも増して21世紀は、情報の時代、多文化・多文明の時代またバイオの世紀とも言われ、その激変は、全く想像を絶するものであるような危惧さえあります。

21世紀を迎えるに当たり、21世紀のロータリー・クラブはどうなるであろうかという事です。ロータリーの国際化は極端に進む事は間違いないでしょう。

ロータリー・クラブはポールハリス等によって今世紀の初頭1905年に産声を上げて以後、世界大戦の一時期を除いては、順調に、そして大戦後は目覚ましい発展を遂げました。此の故に、ロータリークラブの伸展は全く時代に左右されないとは言えませんが、動乱の世を乗り越えて連続と続き、それどころではなく益々隆盛を遂げて来たという事は、何よりもロータリーの真の姿を物語っているものと言えましょう。

先ずロータリークラブの起源は、人と人の手をつないだ友情の集まりであるからでしょう。そしてそれに『超我の奉仕』という理想と4つのテストという実践目標を打ち立て、好意と友情によって結ばれているからです。

しかし、私は、それに『礼儀』を加えたいと思います。礼儀が欠けると人と人との交わりはごちないものであり、礼儀は人との交わりに於ける正しく潤滑油なんです。そう考えていたら、最近『礼儀覚え書』という本が出ました。礼儀というのは、気をつけてチェックしてみますと、われわれの廻り至る所に潜んでいます。

礼節を失失ないように心掛け、心底からのロータリーの友情を育みましょう。ロータリーは永遠に続くでしょう。とにかく、ロータリーは楽しくなければいけません。

ロータリー歴

1985.5 名古屋大須ロータリークラブ入会
1986～'87 国際奉仕委員長
1988～'89 会長
1989～'90 直前会長 青少年交換学生カウンセラー
1990～'91 ロータリー情報委員長 青少年交換学生カウンセラー
1997～'99 青少年交換学生カウンセラー ポール・ハリス・フェロー
2000～'01 米山記念奨学生カウンセラー 米山功労者

2005年日本国際博覧会(愛知万博)1500日前 カウントダウンイベントに参加して

第2760地区2005国際博委員会

副委員長 岩間 俊夫

昨年末、B I Eの登録承認をうけて、愛知万博もいよいよ本格的な準備にはいりました。この度EXPO 2005地球市民の会や日本国際博覧会協会などが実行委員会をつくり、万博の開催気運を盛り上げようと「カウントダウンイベント」を企画しました。

ロータリーとしても、これに協賛・協力すべく、地区の「2005国際博委員会」が窓口となって参加しました。

これは、愛知万博の開幕まで、あと1500日を記して、親子いっしょにゴミを拾う「美化キャンペーン」を中区栄の久屋大通り公園で実施したものです。

2月11日 10時に、久屋大通公園内の、リバーパークに親子1000人が集合、軍手でゴミ袋を持ち、公園内を南へあるきながら空き缶や紙くずを拾い集めました。



われわれロータリアンは、それら親子を誘導しながら一緒に美化キャンペーンに参加しました。

参加した親子らは、その後愛知芸術文化センターで開かれたファミリーコンサートに招待され、キャラクターショーを楽しみました。

参加したロータリアンは次の方々です。

坂田隆(瀬戸北)・加藤五津美(瀬戸)・神戸芳樹(瀬戸)・佐脇順(尾張旭)・大嶋一二三(尾張旭)・森下泉(尾張旭)・庄田元久(江南)・岩井正彦(江南)・岩間俊夫(名古屋西)・藤本博之(名古屋西)・加藤俊夫(名古屋空港)・市川孝(名古屋空港)・安藤日出男(名古屋空港)・中村正人(名古屋空港)・国分孝雄(名古屋和合)

クラブ便り

性感染症特集号(北保健所広報誌)に協力

名古屋 名北ロータリークラブ

会長 阿部 美男

この度、名古屋名北ロータリークラブ(会長・阿部美男)は広報誌「北健康だより第4号性感染症特集号・7千部を名古屋市北保健所に寄贈。その贈呈式を平成12年12月13日に中区の不二パークホテルで行った。

この広報誌は北保健所の感染症予防撲滅活動の一端で、エイズを始めとする淋病・梅毒やクラミジア病いろいろな性感染症の病状や予防方法等4頁にわたって記載されたもので、当クラブが全額負担し、北保健所と協力して出来あがったものです。この贈呈式で目録を贈られた



左より 横田社会奉仕委員・阿部会長・
小山内北保健所所長・野原予防課長

日下部英昭北区長は「エイズ等いろいろな性感染症は今や世界的な問題となっており、予防キャンペーン等有効に活用させていただきます」と謝辞を述べら

れ、感謝状を頂戴しました。

続いて会員の横田徳久氏がこの活動を社会奉仕事業の一環として行った経緯について述べました。「世界保健機構が行う12月1日の世界エイズデー」を機に年々増加するエイズ

やいろいろな性感染症の恐ろしさを1人でも多くの方(特に女性や若い人)に知っていただくため企画し、大勢の方々のご協力のもとで作られたものです。エイズキャンペーンでの来場者・官公庁・その他等、又名北ロータリー会員の家族や会社の方々や北区内の二つの高校の全生徒に配布。高校では担当の先生のお話によりますと、生徒の皆さんは病気の恐ろしさを改めて知り、よかったという事でした。性感染症の撲滅の一助になれば幸いです。



国際ロータリー年次大会のご案内

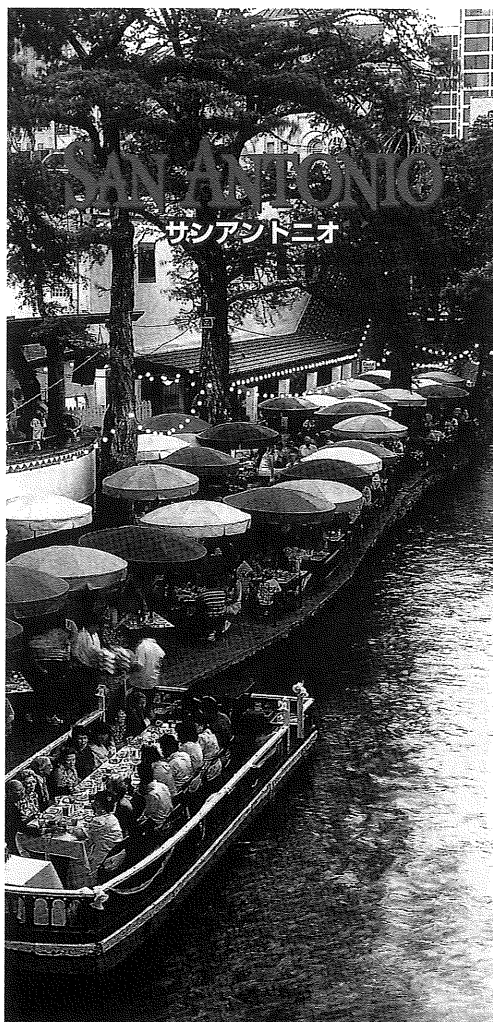
第92回RI国際大会

米国テキサス州「サンアントニオ」で お会いしましょう

2001年国際大会は、6月24日(日)～27日(水)の4日間サンアントニオの中心街、ヘンリー・ゴンザレス・コンベンション・センターとアラモドームの二カ所で開催されます。

意識を喚起しー
私達のクラブで
私達の地域社会で
そして 私達の世界で
進んで行動しましょう

全世界のロータリアンよ、サンアントニオで会いましょう。 *Frank J. DeBryn* フランク J. デブリン
2000-01年度RI会長



サンアントニオ国際大会 日本親善朝食会について

日時 2001年6月25日(月) 午前7時～9時
場所 サンアントニオ、マリOTT、リバーウォークホテル
アラモボールルーム
所在地 711 East Riverwalk San Antonio Texas 78205
会費 お一人 3,500円(税・サービス込み)
締切 2001年4月20日(金)

親善朝食会のお申し込みは、電話かFaxで、ガバナー事務所に
ご連絡ください。

JAM、JTB、日本旅行、阪急交通社、近畿日本ツーリストでも
申込み出来ますが、会費は別途ご連絡申し上げます。

ガバナー会議長

指田 勢郎

プログラムのハイライト

2001年6月21日木曜日：国際研究会歓迎レセプション
2001年6月22日金曜日：国際研究会、ロータリー会議：第
一回国際RYLA大会：青少年交換役員会議と晩餐会：ホスト
組織委員会主催ゴルフ・トーナメント
2001年6月23日土曜日：登録と友愛の広場オープン：国際研
究会：ロータリー会議、第1回国際RYLA大会：青少年
交換役員会議：ロータリー財団学友懇親セミナーとレセプシ
ョン：ホスト組織委員会歓迎の行事「古き良きサン・アント
ニオの夕べ」(チケットが必要です。)
2001年6月24日日曜日：全宗教合同礼拝：ホスト組織委員会ロ
ータリー記念庭園植樹、ボール・ハリス・フェローズ記念昼
食会：クラブ及び地区プロジェクト展示会開催：開会本会議
2001年6月25日月曜日：第2回本会議：会長主催認証昼食
会：討論フォーラム：ホスト歓迎の夕べ
2001年6月26日火曜日：第3回本会議：会長エレクト主催昼
食会：討論ワークショップ：次期クラブ会長のためのワークシ
ョップ：Don Strange Ranchでのホスト組織委員会の行事
(チケットが必要です。)
2001年6月27日水曜日：第4回本会議：役員懇親昼食会：国
際プロジェクト展示会：閉会の行事

新入会員報告 1月分・2月分 (2月13日現在報告分)

ご入会おめでとうございます

分 区	ク ラ ブ	氏 名	生年月日	会 社	職 業 分 類
南 尾 張	東 知 多	鈴木 隆	1948.12.2	(株)共栄建設	住宅建設
	〃	木村 正嗣	1950.9.4	(株)和光	制服製造
西 尾 張	稲 沢	寺西 直勝	1942.1.13	(株)コアジャパン	石油販売
	〃	辻 政彦	1940.12.13	(株)中部システムサービス	開閉制御機器
	西 春 日 井	後藤 鈴明	1955.8.27	(有)庭鈴造園	造園業
西名古屋	〃	和田 典之	1952.11.4	(株)和田製作所	航空機用治具製作
	名 古 屋 西	有賀 堅司	1938.7.30	名古屋則竹新町郵便局	特定郵便局
	〃	牧 文一郎	1943.4.5	安田火災海上保険(株) (中部本社)	傷害保険
	〃	仁敷 吉則	1948.3.1	西日本電信電話(株) (名古屋中央)	電話事業
	名古屋東南	藁谷喜世志	1952.1.18	(株)山忠三信商事	石油卸業
東名古屋	名 古 屋 中	宮内 誠	1956.5.7	(株)ウェルケアシステム	老人保健施設管理者
	名 古 屋 北	百々 孝義	1948.4.12	(株)日本旅行 (中部)	旅行斡旋業
	名古屋名北	横井 郁夫	1954.4.20	名鉄観光サービス(株) (上前津)	旅行斡旋業
	〃	小出 三郎	1951.5.29	司法書士小出三郎事務所	不動産登記
東 三 河	豊 川 宝 飯	三宅 耕一	1957.4.24	(株)富士精工	プラスチック成形
	〃	樺山 修一	1959.7.25	豊川染色(株)	織物衣服染色
西三河中	豊 田	国光 慎策	1934.1.17	国光眼科医院	シニア
	〃	倉橋 学	1956.12.6	(株)倉橋建設	木材販売
	〃	河原 秀紀	1957.12.7	(株)紫宗呉服店	呉服販売
	〃	宮戸優治郎	1960.11.6	(有)花一	生花業
	〃	矢頭 賢一	1960.6.6	珈琲茶屋 純	喫茶
	岡 崎 南	小島ミユキ	1938.2.15	小島歯科医院	歯科医院
	〃	安藤 隆幸	1960.6.20	社会保険労務士安藤事務所	社会保険労務士
	〃	岡田 庄重	1960.3.21	共栄商事(株)	私塾経営
	〃	奥村 英世	1960.3.25	(有)コットンテール	歯科材料
	〃	志貴 祐二	1952.1.28	(医)志貴こどもクリニック	小児科
	〃	犬塚 光彦	1953.8.6	(株)犬塚工務店	建物解体業
西 三 河	西尾KIRARA	青山 弦八	1943.6.20	青山	不動産賃貸業
	〃	米津 長治	1949.2.22	(株)キンテック	自動車ボディプレス

新ポール・ハリス・フェロー 12・1月分

速水 利行様 (名古屋空港)	田中 英嘉様 (知 立)	吉野 宗彦様 (小 牧)
江崎 武久様 (名古屋北)	松井 宣夫様 (名古屋北)	森山 晃一様 (名古屋北)
佐治 良三様 (名古屋北)	三浦 泰秀様 (岡 崎)	加藤 豊生様 (岡崎城南)
野田 修様 (犬 山)	石原 政明様 (名古屋昭和)	上野 広様 (名古屋昭和)
田中 邦幸様 (名古屋昭和)	井上 穂様 (豊橋ゴールデン)	高畑 皓一様 (豊橋ゴールデン)
磯部 一美様 (豊橋ゴールデン)	野場 敏孝様 (豊橋ゴールデン)	天野 義久様 (豊橋ゴールデン)
宇藤 信様 (豊橋ゴールデン)	佐藤 文俊様 (豊川宝飯)	滝下 勲様 (豊川宝飯)
山田 久就様 (豊川宝飯)		

特別寄付報告

2000年1月分

財団法人ロータリー米山記念奨学会 理事長 末永 直行

クラブ名称	クラブ扱入金額	個人扱入金額	法人扱入金額	合 計	件 数
蒲 郡	0	270,000	0	270,000	1件
刈 谷	102,000	0	0	102,000	1件
名 古 屋 名 北	0	300,000	0	300,000	1件
名 古 屋 瑞 穂	0	540,000	0	540,000	18件
名 古 屋 栄	0	420,000	0	420,000	14件
西 尾	0	690,000	0	690,000	3件
岡 崎	0	80,000	0	80,000	6件
岡 崎 東	17,788	0	0	17,788	1件
瀬 戸	0	30,000	0	30,000	1件
東 海	135,350	0	0	135,350	1件
豊 橋	0	380,000	0	380,000	3件
豊 橋 東	0	10,000	0	10,000	1件
豊 橋 北	218,000	0	0	218,000	1件
地 区 合 計	473,138	2,720,000	0	3,193,138	52件

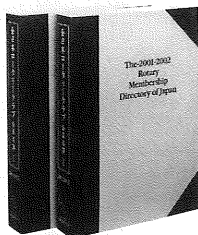
「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に設立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料（貸出可）など、1万8千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

21世紀 名簿と手帳は お手元に

2001-2002年度版 全日本ロータリークラブ会員名簿

大きい背文字で、オフィスや書斎で目につきやすくなっています。

全国35地区、約2,300RCの事務所の住所、電話番号、例会場と例会の曜日・時間、会員の事業所並びに自宅の住所・電話番号、職業分類など、ロータリアンに必要な情報を満載。ロータリーの情報交換や親睦にお役立てください。



1組10,000円(消費税、送料別) ※8月中旬出来上がり予定

一度は読んでみたい本

- ◎「火種はみんな持っている」
松本兼二郎 八幡R.C. 1965 152頁
[申込先：ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「信天翁 よちよち歩く」 齊木亀治郎 1970 209頁
[申込先：ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「ロータリーあれこれ」
笹部 誠 川崎R.C. 1971/1996(復刻版) 174頁
[申込先：川崎R.C. FAX(044)245-8308]
- ◎「ロータリー入門書」
前原勝樹 1972/2000(改訂版) 175頁
[申込先：北斗事業出版 FAX(03)3812-6009]
- ◎「そろばんと論語」 塚本義隆 1974 60頁
[申込先：ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「はげすずめ」 安野謙次 1974 139頁
[申込先：ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「ロータリー入門ー或るガバナーの手記」
平島健次郎 1975 273頁
[申込先：ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「ロータリアンのお題目」
塚本義隆 大阪R.C. 1979 29頁
[申込先：ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「わたしのロータリー50年」 直木太一郎 1983 194頁
[申込先：ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「本卦還りー新千年紀を展望して」
佐藤千壽 2000 61頁
[申込先：ニダック(株)安里・綿井 TEL(03)3256-0039]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館 7階
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

◆ 訃 報 ◆ (謹んでお悔やみ申し上げます)

吉井多智雄様	豊田西ロータリークラブ	平成12年12月15日
真野 清様	名古屋中ロータリークラブ	平成13年 2月 4日
長屋 一雄様	豊橋ロータリークラブ	平成13年 2月10日
村瀬 金正様	江南ロータリークラブ	平成13年 2月11日
岡田 國雄様	碧南ロータリークラブ	平成13年 2月13日

訂正のお詫び

月信第8号(1/1号)に誤りがありました。3頁の藤井忠様の項 表題“横は密接だが縦が希薄”(誤) → “縦は密接だが横は希薄”(正)です。ここにお詫びし訂正いたします。

地区内関係事務所の御案内

ガバナー事務所

〒483-8205
江南市古知野町小金112 江南商工会館内
TEL0587(52)5200 FAX0587(52)5252
E-mail: governor00-01@rotary2760.org

ガバナーエレクト事務所

〒444-0059
岡崎市康生通西3-16 康生ビル406
TEL0564(65)5552 FAX0564(65)5553
E-mail: governor01-02@rotary2760.org

地区事務所

〒450-0002
名古屋市中村区名駅3-12-5
竹生ビル別館(ちくぶビル)
TEL052(541)2760 FAX052(541)0500
E-mail: office@rotary2760.org
<http://www.rotary2760.org>



会員数および出席報告



第2760地区

平成13年1月分

分区	クラブ名	出席率	例会数	会 員 数			
				2000年 7月1日	当月末	増減	女性 会員
南尾張分区	半 田	99.44	3	73	68	-5	0
	常 滑	96.72	4	72	70	-2	0
	東 海	98.10	4	48	53	5	1
	東 知 多	94.40	4	65	66	1	0
	半 田 南	99.17	4	65	63	-2	0
	知 多	96.82	3	41	42	1	0
	6RC	97.41	22	364	362	-2	1
西尾張分区	一 宮	99.58	3	85	83	-2	0
	津 島	98.72	4	77	80	3	0
	尾 西	97.66	3	59	56	-3	0
	一 宮 北	96.62	3	72	73	1	1
	稲 沢	94.76	4	62	64	2	0
	あ ま	100	3	94	98	4	0
	西 春 日 井	97.49	4	60	60	0	2
	尾 張 中 央	96.42	4	54	54	0	0
	一 宮 中 央	95.29	4	70	70	0	5
	9RC	97.39	32	633	638	5	8
東尾張分区	瀬 戸	100	4	84	86	2	0
	犬 山	100	4	83	86	3	0
	江 南	100	3	73	77	4	0
	小 牧	95.60	4	74	71	-3	0
	春 日 井	98.43	3	82	85	3	3
	尾 張 旭	99.15	4	59	59	0	0
	名古屋空港	98.34	3	58	59	1	0
	瀬 戸 北	100	4	71	73	2	0
	岩 倉	97.90	4	36	36	0	0
	豊山一城北	96.62	4	44	44	0	2
	10RC	98.40	37	664	676	12	5
西名古屋分区	名 古 屋	95.70	4	215	220	5	0
	名 古 屋 西	94.49	3	140	142	2	0
	名 古 屋 南	99.19	4	120	123	3	0
	名古屋みなと	100	3	118	119	1	0
	名古屋東南	97.83	4	79	79	0	4
	名 古 屋 中	99.74	3	153	158	5	0
	名古屋瑞穂	97.20	3	97	96	-1	0
	名古屋大須	98.68	3	92	81	-11	0
	名 古 屋 栄	99.21	3	85	85	0	0
	名古屋名駅	96.48	4	111	115	4	1
	名古屋名南	98.85	4	90	91	1	17
	名古屋西南	97.68	3	60	60	0	8
	12RC	97.92	41	1,360	1,369	9	30

分区	クラブ名	出席率	例会数	会 員 数			
				2000年 7月1日	当月末	増減	女性 会員
東名古屋分区	名 古 屋 北	98.90	3	111	109	-2	0
	名 古 屋 東	96.96	3	105	103	-2	0
	名古屋守山	93.59	4	79	78	-1	5
	名古屋和合	100	4	108	111	3	0
	名古屋名東	100	4	82	82	0	8
	名古屋名北	98.61	4	67	68	1	6
	名古屋千種	97.59	4	70	70	0	5
	名古屋昭和	99.54	3	74	76	2	0
	名 古 屋 錦	98.47	4	57	52	-5	12
	名古屋東山	98.48	4	61	66	5	0
	10RC	98.18	37	814	815	1	36
東三河分区	豊 橋	98.82	3	130	129	-1	4
	蒲 郡	92.93	4	74	74	0	0
	豊 橋 北	97.17	4	110	109	-1	2
	豊 川	99.20	4	77	78	1	0
	田 原	94.40	4	70	73	3	1
	豊 橋 南	100	3	66	69	3	0
	新 城	91.00	3	69	67	-2	0
	渥 美	91.17	3	61	60	-1	0
	奥 三 河	95.40	3	37	35	-2	2
	豊 川 宝 飯	98.66	4	64	63	-1	0
	豊橋ゴールデン	100	4	76	71	-5	0
	田原パシフィック	98.63	4	72	75	3	0
	豊 橋 東	100	4	50	51	1	0
	13RC	96.72	47	956	954	-2	9
西三河中分区	岡 崎	100	4	107	113	6	1
	豊 田	98.63	4	84	92	8	0
	岡 崎 南	98.02	3	108	111	3	3
	豊 田 西	100	4	102	98	-4	0
	岡 崎 東	98.37	3	97	99	2	0
	豊 田 東	98.39	4	95	94	-1	0
	岡 崎 城 南	97.94	4	74	72	-2	0
	豊 田 三 好	96.43	4	30	30	0	2
	豊 田 中	100	4	53	54	1	4
	9RC	98.64	34	750	763	13	10
西三河分区	刈 谷	100	3	99	100	1	0
	安 城	89.52	3	73	70	-3	0
	西 尾	100	4	78	80	2	1
	碧 南	99.62	4	78	82	4	0
	一 色	99.32	3	50	49	-1	0
	高 浜	99.46	4	50	51	1	3
	知 立	100	4	60	63	3	0
	西尾KIRARA	99.28	4	67	69	2	0
	三 河 安 城	96.65	4	42	43	1	1
	9RC	98.21	33	597	607	10	5

地域内クラブ数 78RC	2000.7.1会員数	6,138名	増 加 会 員 数(累計)	247名
	当 月 末 会 員 数	6,184名(内女性104名)	減 少 会 員 数(累計)	201名
	当 月 平 均 出 席 率	97.86%	差引純増会員数(累計)	46名

表紙に寄せて

福田ガバナーが折にふれ、読んだり、見たり、聞いたりの中で、平易な内に含蓄のある言葉を編集スタッフで選んだものです。

●書家・画家プロフィール
書：富永奇洞

富永正明・号奇洞／篆刻・書道家
奇洞会会主・東海書道芸術院副会長
江南市教育委員長／文部大臣・県教育表彰(社会教育功労)
1998～1999年度江南RC会長

画：岩田明生

岩田 明・号明生／洋画家
江南市文化協会理事
昭和54年以後白日会連続出品
白日賞／文部大臣賞／
現在白日会会員